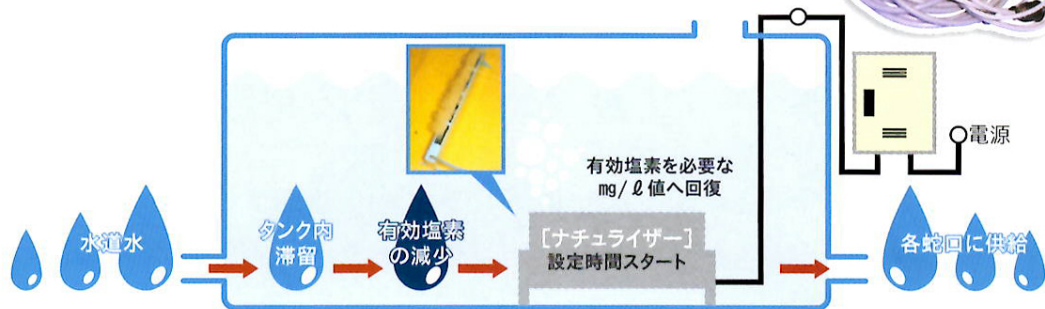


# ナチュラルイザーを貯水タンクにセットするだけ。 1日数時間の通電でタンク内の水の 有効塩素を0.1mg/ℓ以上にキープ！

ナチュラルイザーは貯水タンクの水を薬品などを使わず、電解作用だけによって有効塩素を0.1mg/ℓ以上に、しかも自動的に保持し消毒する機能を持ったシステムです。水道法に基づく飲料に適した安全な水の供給を、低コストで実現します。

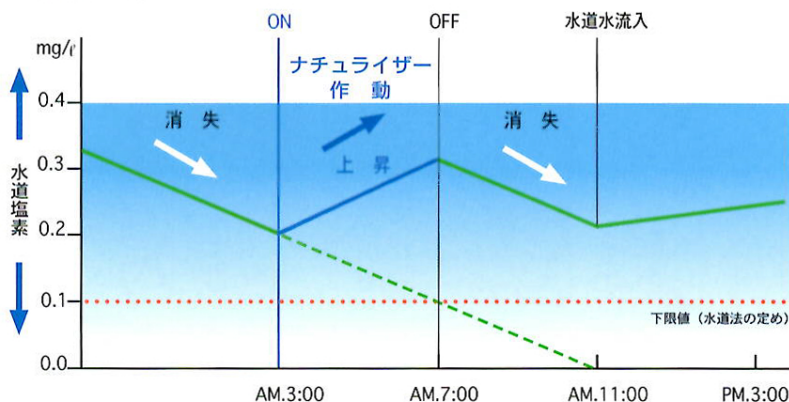


## ■ 貯水タンクと水中設置型ナチュラルイザーの仕組み



**O-157や赤痢などの病原菌は、有効塩素が0.1mg/ℓ以上ある水の中では数秒で滅菌されます。**

## ■ 有効塩素の損失と保全



**飲料水の安全供給を24時間コントロールします。**

ナチュラルイザーの24時間タイマーで、有効塩素濃度が下限値以下にならないようコントロール。タイマーをセットするだけで、日々の管理は必要ありません。

## ■ ナチュラルイザーの原理

自然の水、地下水、通常の水道水には必ずミネラル成分として塩素イオン( $Cl^-$ )が含まれています。ナチュラルイザーはその塩素イオンを電気分解し、有効塩素を作りだします。

### 反応式①



水に含まれている塩素イオン( $Cl^-$ )が電解により、次亜塩素酸イオン( $ClO^-$ )に変化。水中に生成された水素ガス( $H_2$ )は泡となって大気中に出ていきます。

### 反応式②



水中に生成された次亜塩素酸イオン( $ClO^-$ )は水素イオン( $H^+$ )と結びつき、次亜塩素酸( $HClO$ )が生成されます。水中ではPH値により異なりますが、この次亜塩素酸( $HClO$ )と、次亜塩素酸イオン( $ClO^-$ )が共存しています。この $HClO$ と $ClO^-$ の二つを有効塩素と言います。